

(註) この欄(下の欄)に表示しました「普通訳」は、通常は、表示しません。

左の2つの「原文」と「聴順訳」を表示します。

「聴順訳」は、基本的に原文の語順で訳語を付けています。「(カンマ)」の次の語句から戻り読みすると日本語の通常の訳文に近い表現になります。「オーディオブック」を聴きながら、「聴順訳」を見てゆくと「原文」が理解しやすくなります。

「原文」

CHAPTER 1 AT TEN

MINUTES TO THREE in the morning, the city of Wells lay inert, hot and stagnant. Most of its eleven thousand people tossed restlessly; the few who couldn't sleep at all damned the fact that there was no breeze to lift the stifling effect of the night. The heat of the Carolinas in August hung thick and heavy in the air.

The moon was gone.

A few unshaded street lamps in the main business area pushed hard shadows against the closed stores, the surviving movie theater, and the silent gas stations. At the corner where the through highway crossed at right angles, the automatic air-conditioner in the Simon Pharmacy was on, its steady throb purring against the silence of the night. Across the street the one patrol car that the Wells police department kept out all night was pulled up against the curb.

Sam Wood, the driver, held his ball-point pen firmly in his solid fingers as he filled out his report sheet. He braced the official clipboard against the wheel and printed neat block letters which he could see by means of the dim light that filtered into the car. Carefully he spelled out that he had completed a thorough check of the main residential section of the city, as was required, and that he had found

「聴順訳」

第1章 10分前に、

3時の、朝の、町は、ウェルズの、沈滞していた、活気なく、暑気とよどみで。大部分は、その11,000人の人々の、寝返りをうっていた、いろいろなしながら、少数の人は、少しも眠りにつけない、呪った、事実を、わずかの微風さえないことの、取り除いてくれる、息苦しくさせる効力を、夜の。熱気が、カロライナ特有の、八月の、満たしていた、重苦しく、空間を。

月は無かった。

街灯のいくつかの裸電球が、商業地区の、映しだしていた、黒い影を、戸をおろした店や、ようやく生き残っている映画館、人けのないガソリン・スタンドに。街角にある、町を通り抜けているハイウェイと交わっている、直角に、自動空調機が、サイモン薬局の、動いていた、間断なく、静けさをふるわせて、夜の。通りの向こう側に、一台のパトロール・カーが、ウェルズ町警察署がパトロールをさせている、夜間の、停車していた、縁石に沿って。

サム・ウッドは、その運転手の、にぎって、ボール・ペンを、しっかり、頑丈な指で、記入していた、報告書に。彼は、乗せかけていた、署のクリップボードを、ハンドルに、そして、記入していた、几帳面な活字体で、わずかな明かりをたよりに、窓からの、車の。慎重に書き入れた、彼は異常なく終了したこと、もれなく巡察したこと、主だった住宅地域を、町の、指示されている通りに、そして、彼自身が確認した、

「普通訳」

第1章 午

前二時五十分、ウェルズの町はグッタリと暑気の中に沈滞していた。一万一千の住民の大部分はいろいろな寝返りをうっており、寝に就く気にもなれない少数の人々は、息づまるような夜の空気を動かしてくれる微風のかげすらないのを呪っていた。八月のカロライナ特有の熱気が重苦しく空間をみだしていた。

月はなかった。

中心街の街燈の裸電球が戸をおろした店や、ようやく生き残っている映画館、人けのないガソリン・スタンドに黒い影をうつし出している。町を貫くハイウェイと直角に交わる町角のサイモン薬局では自動空調機が夜陰をふるわせて間断なく動いている。その筋向かいの角に、ウェルズ警察署がただ一台夜間パトロールをさせている車がとまっていた。

運転手のサム・ウッドは、頑丈な指でボール・ペンをにぎりしめて

——「普通訳」の表示はここまで——